



9:00 ~ ファイナルカンファレンス



多くの方から発言があり、活発な議論がなされました。

東京理科大学
TOKYO UNIVERSITY OF SCIENCE

本サミットは、町民はもとより、他自治体、企業、マスコミからも大きな注目を集めた中で開催されました。

石破地方創生担当大臣をはじめ、たくさんの方々から地方創生についての考え方を学ぶ貴重な機会となりました。

今回サミットの中で、「長万部町と東京理科大学との地方創生に係る包括的連携協定」への調印式が行われ、長万部町が東京理科大学の知恵と技術のバックアップを受けられるということとは、とてもなおきな優位性であると思います。

理科大を卒業されたTUSホールディングスの片寄社長は長万部の資源を複合的に組み合わせた新型アグリビジネス構想を発表し、これから本格的に動き出します。

そこで私達はどのように関わっていけばいいのでしょうか。大事なことは、町づくりの主役は、この町に住む私たち自身であるということのを忘れないことだと思います。

誰かに背中を押してもらったとしても、歩くのは自分自身。

サミットの総まとめとして二日目に行われたファイナルカンファレンスで、理科大の中根理事長がおっしゃいました。

「このサミットの大成功に喜んでばかりもいられません。

まだスタートラインに立ったただけ、まだなにも成し遂げていないし、まだなにも手にしていないのです。」

それに対して木幡町長は、この町に眠る資源を掘り起こし、理科大の知恵を借りながら、町民と共に汗を流して町づくりを進めて行く決意を示しました。

